

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-15760(P2013-15760A)

【公開日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-004

【出願番号】特願2011-150036(P2011-150036)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

C 0 9 J 5/00 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 4 2 A

B 0 5 D 7/24 3 0 1 P

C 0 9 J 5/00

C 0 9 J 201/00

G 0 9 F 9/00 3 3 8

G 0 2 F 1/1333

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月7日(2014.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

貼り合わせ対象となるワークに対して接着剤を供給することにより、充填材を供給する領域を規定するための土手部を形成する接着剤供給装置において、

前記ワークに対して、接着剤の流動を抑制する線状の抑制部を生成する抑制部生成部と

、

前記抑制部に接する位置に、土手部となる接着剤を線状に供給する接着剤供給部と、
を有することを特徴とする接着剤供給装置。

【請求項 2】

前記抑制部生成部は、前記ワークに対して、前記土手部よりも低い小土手部を形成する小土手部形成部を有することを特徴とする請求項 1 記載の接着剤供給装置。

【請求項 3】

前記小土手部形成部は、前記ワークに対して、樹脂を含む材料を塗布する塗布部を有することを特徴とする請求項 2 記載の接着剤供給装置。

【請求項 4】

前記抑制部生成部は、前記ワークの表面を改質する改質処理部を有し、
この改質処理部は、前記ワークの表面の汚染物を除去する洗浄部を有することを特徴とする請求項 1 記載の接着剤供給装置。

【請求項 5】

前記抑制部生成部は、前記ワークの表面を改質する改質処理部を有し、
この改質処理部は、前記ワークの表面を荒らす加工部を有することを特徴とする請求項

1 記載の接着剤供給装置。

【請求項 6】

前記抑制部生成部は、前記ワークの表面の接着剤に対する親和性を変える親和性改変処理部を有し、

この親和性改変処理部は、前記ワークの表面に、接着剤に対する親液性の高い材料を供給する親液材料供給部を有することを特徴とする請求項 1 記載の接着剤供給装置。

【請求項 7】

前記抑制部生成部は、前記ワークの表面の接着剤に対する親和性を変える親和性改変処理部を有し、

この親和性改変処理部は、前記ワークの表面に、接着剤に対する撥液性の高い材料を供給する撥液材料供給部を有することを特徴とする請求項 1 記載の接着剤供給装置。

【請求項 8】

前記接着剤供給部は、土手部となる接着剤を線状に複数回重ねて供給可能に設けられていることを特徴とする請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の接着剤供給装置。

【請求項 9】

前記土手部に規定される領域に、充填材を供給する充填材供給部を有することを特徴とする請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の接着剤供給装置。

【請求項 10】

貼り合わせ対象となるワークに対して接着剤を供給することにより、充填材を供給する領域を規定するための土手部を形成する接着剤供給方法において、

前記ワークに対して、接着剤の流動を抑制する線状の抑制部を生成し、

前記抑制部に接する位置に、土手部となる接着剤を線状に供給することを特徴とする接着剤供給方法。

【請求項 11】

前記抑制部は、前記土手部よりも低い小土手部であることを特徴とする請求項 10 記載の接着剤供給方法。

【請求項 12】

前記抑制部は、前記ワークの表面が改質された改質部であることを特徴とする請求項 10 記載の接着剤供給方法。

【請求項 13】

前記抑制部は、前記ワークの表面の接着剤に対する親和性を改変した親和性改変部であることを特徴とする請求項 10 記載の接着剤供給方法。